



# ユニークな画面切り替えで 目を引く発表をしよう



発表時に会場の注目を集めたいなら、「画面切り替え効果」を活用しましょう。

次のページが表示される前にカーテンが開いたり、カニやカ士のキャラクターが登場したりするなど、ユニークな効果が満載です。

※上記のユニークな「画面切り替え効果」は、Agree 2009 でお使いいただけます。

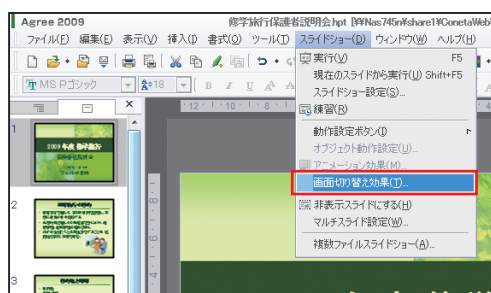


## コネタくんからのアドバイス!

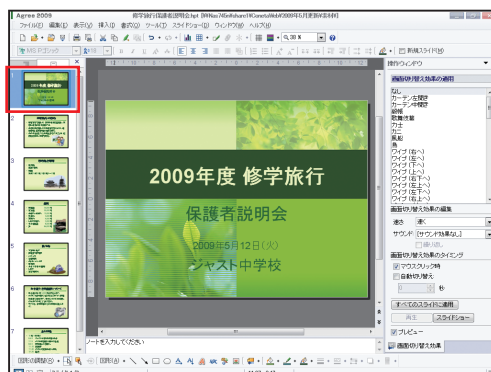
強調したい個所にポイントを合わせるだけで、文字の色を変える「カラーアピール効果」も使ってみよう。どこを発表しているのか視覚的に区別できるので、わかりやすい発表になるよ。

## カーテンの画面切り替え効果を設定する

- 1 スライドを作成し、「スライドショー画面切り替え効果」を選択します。



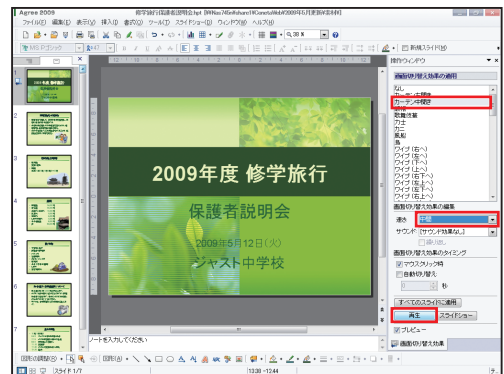
- 2 「画面切り替え効果」操作ウィンドウが表示されたら、画面左にある「スライド」シートで効果を付けたいスライドを選択します。



- 3** 「カーテン中開き」を選択し、必要に応じて速さやサウンドなどの設定を変更して、「再生」をクリックします。

### One Point

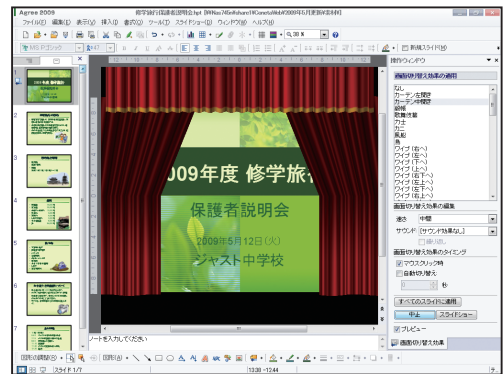
スライドショーの実行時に、クリック操作で次のスライドに移動したい場合は、「マウスクリック」にチェックを入れておきます。



- 4** 編集ウィンドウ上で、画面切り替え効果を確認します。

### One Point

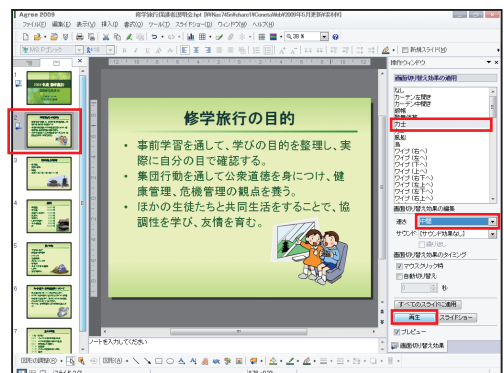
「[スライドショー]」をクリックすると、実際にスライドショーを実行して画面切り替え効果を確認することができます。



## 力士の画面切り替え効果を設定する

- 1** 「[スライド]」シートで効果を付けたいスライドを選択します。

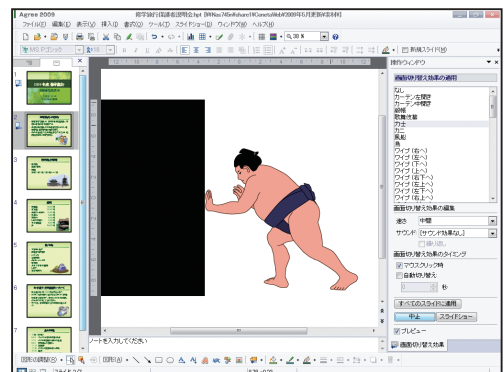
「[画面切り替え効果]」操作ウィンドウで「力士」を選択し、必要に応じて速さやサウンドなどの設定を変更したら、「再生」をクリックします。



- 2** 編集ウィンドウ上で、画面切り替え効果を確認します。

### One Point

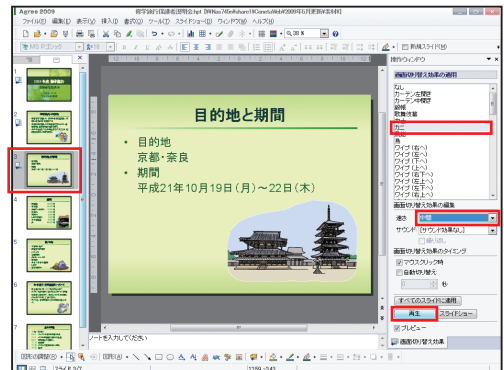
設定した画面切り替え効果をすべてのスライドに適用したい場合は、「すべてのスライドに適用」をクリックします。



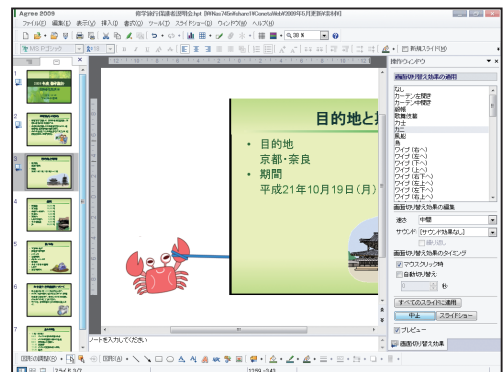
## カニの画面切り替え効果を設定する

- 1 「[スライド] シートで効果を付けたいスライド」を選択します。

「画面切り替え効果」操作ウィンドウで「カニ」を選択し、必要に応じて速さやサウンドなどの設定を変更したら、「[再生]」をクリックします。



- 2 編集ウィンドウ上で、画面切り替え効果を確認します。

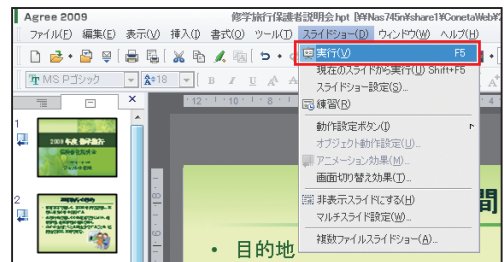


## スライドショーを実行する

- 1 「[スライドショー-実行]」を選択します。



[F5]キーを押してもスライドショーを実行できます。



- 2 最初にカーテン中開きの画面切り替え効果が表示されるのを確認します。



- 3 マウスをクリックし、力士の画面効果が表示されるのを確認します。

### One Point

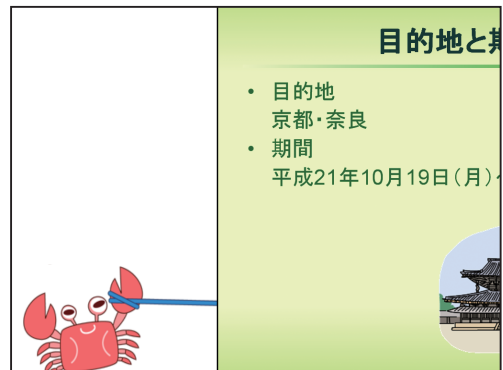
「画面切り替え効果」操作ウィンドウで、「マウスクリック時」にチェックを入れていない場合は、マウスをクリックしても次のスライドに移動しません。その場合は、スライドを右クリックして「次へ」を選択するか「→」キーを押します。



- 4 マウスをクリックし、カニの画面効果が表示されるのを確認します。

### One Point

途中でスライドショーを終了する場合は、「Esc」キーを押します。



## 強調したい個所の文字色を変える

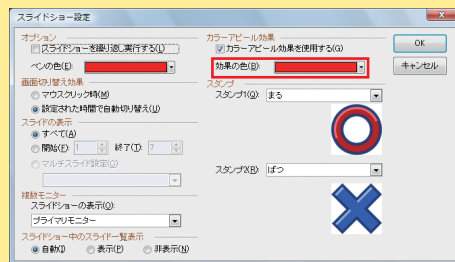
スライドショーの実行中に、強調したい個所にポインタを合わせると、文字色を変えたり、画像を枠で囲んで表示したりすることができます（カラーアピール効果）。

文字色は、「スライドショー・スライドショー設定」を選択して変更できます。

※「カラーアピール効果」は、Agree 2009 でお使いいただけます。



文字色変更される



「スライドショー・スライドショー設定」を選択すると、「スライドショー設定」ダイアログボックスで効果の色を変更できる